

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
美学	岡野 智子	講義	2		2	4	1,3
授業概要 授業目的	日本の調度や衣装には、古来様々な意匠=デザインが施されてきた。それらは四季折々の花鳥風月をはじめ、物語や和歌などの古典文学などとも深い関わりをもつ。 本講義では日本の美意識を象徴する意匠の成立と展開につき、絵画や工芸品を通じて多方面から考察、人々の暮らしや人生、社会における美の在り様に理解を深める。						
到達目標	伝統的な意匠への知見を深め、講義毎に作品と対峙して自己の内なる感性を培い課題に表わす。その積み重ねを以て自己の美意識を豊かに築き明確に表現する力を養う。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション・日本美術の成立1（縄文～平安）						
2	日本美術の成立2（平安～桃山）						
3	日本美術の成立3（江戸）						
4	吉祥の意匠―福を招く図様―						
5	桜の意匠―桜への想いとその表象―						
6	涼を呼ぶ意匠―実用と装飾の出会い―						
7	秋を彩る意匠―情趣と洗練の美―						
8	冬を楽しむ意匠―雪の姿さまざま―						
9	月次絵の楽しみ1―一年中行事と景物―						
10	月次絵の楽しみ2―花鳥と風俗―						
11	伊勢物語の意匠―燕子花と問えば―						
12	源氏物語の意匠―留守模様に遊ぶ―						
13	動物の意匠―霊獣からペットまで―						
14	渡来の意匠と表現1―憧れの南蛮ファッション―						
15	渡来の意匠と表現2―西洋画風の影響―						
予習内容 復習内容	各自で美術館・博物館等で実作品を鑑賞し、授業内容を振り返りつつ作品と向き合う経験を通して自らの「見る力」を養う（経費は自己負担、自己責任で行う）。さらに展覧会カードに感想をまとめ、提出することを推奨する（現況では感染防止策を十分に講じて実施すること）。						
教科書	教科書は使用しない。資料を毎回配布。参考文献は初回の講義でリストを配布。						
成績評価	①授業時に提出するコメント 50% ②展覧会等の見学レポート 20% ③期末レポート 30%（②については感染状況により比率を③と調整することがある）						
実務経験							
その他 特記事項	オリエンテーションで重要な連絡を行う。受講希望者は必ず初回の授業に出席し、そこで提示の受講注意に同意の上、履修すること。毎回講義で触れた作品の中からコメント提出を求める。受講者は提出回数が原則として10回以上の者のみ③の提出資格が得られる。						